

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 求職・求人データベースシステム更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3682)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,250 千円 (前年度予算額：2,250 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 2,250 | 1,125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,125 |
| 要求額 | 2,250 | 1,125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,125 |
| 決定額 | 2,250 | 1,125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,125 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県総合人材チャレンジセンターにおいては、求職者に対し個別カウンセリングや職業紹介等の様々なサービスを提供しており、これらのサービス提供に必要な利用者情報・求人情報等を管理するため、求職・求人データベースを構築・利用している。

本システムには、国が進める移住支援事業・マッチング支援事業を実施するための機能が搭載されており（令和2年度から本格運用）、この機能についても運用保守が必要となる。

移住支援事業・マッチング支援事業は令和6年度まで継続することから、本システムを令和6年度まで運用保守する必要がある。

(2) 事業内容

○岐阜県総合人材チャレンジセンター事業求職・求人データベースシステムの運用保守（令和4年度～6年度）

（システムの概要）

・管理する情報

利用者情報（住所、氏名、面談記録等）、求人情報、企業情報等

・移住支援事業・マッチング支援事業対応機能

民間事業者への求人情報データ連携

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 1 / 2 以内 [デジタル田園都市国家構想交付金]

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|-------------|
| 委託料 | 2,250 | システム運用・保守費用 |
| 合計 | 2,250 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

令和4年度～令和6年度までシステムの運用・保守に係る経費が必要。

令和6年度に改めてシステムの更新が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 「岐阜県総合人材チャレンジセンター事業求職・求人データベースシステム」を令和6年度まで円滑に運用保守する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 (R5年度) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|----------------|-----|
| | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

本事業の目的は、システムの運用保守のみであり、特に設定すべき指標は存在しない。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和4年度 | システムの保守運用契約に基づき、適切に運用保守を行っている。 |
| 令和5年度 | 令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和6年度 | 令和8年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない | |
| (評価) 3 | 岐阜県総合人材チャレンジセンターの業務運営に不可欠なシステムであり、事業の必要性は高い。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 3 | 岐阜県総合人材チャレンジセンターの求人情報・利用者情報を適正に管理するうえで、有効なシステムである。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている | |
| (評価) 2 | 最低限の機能を実装した効率的なシステムとして構築している。 |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和4年度4月以降、継続してシステムを円滑に運用・保守する必要がある。 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和6年度までの長期継続契約を行い、令和4年度からの運用開始以降3年間システムの運用・保守を実施する。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | 【〇〇課】 |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | |